

防災情報を確認し、防災力を高めましょう

自 分の命は自分で守る——。災害時に被害を少しでも抑えるためには、行政の「公助」に加え、家族や近所、地域の人がお互いに助け合う「共助」、そして自分のことを自分で助ける「自助」が重要です。自分の命が守れなければ、家族や地域の人を守ることもできません。自分を助けるために必要なことは、防災に関する知識を身につけ、災害に備えることです。また、災害発生後に情報を収集することも大切です。緊急時には、市や各機関からさまざまな情報が発信されますので、事前に確認しておきましょう。

防災行政無線の活用

市では、市民のみなさんの生命などに危害が及ぶおそれのある場合に、筑西警察署、筑西広域消防本部と連携し、防災行政無線でその内容をお知らせしています。



<放送内容>

- ①凶悪犯罪が発生し、犯人が逃走中であるとき。
- ②行方不明者又は身元不明者を捜索するとき。
- ③動物の出没又は逃走により市民の生命・身体に危害が及ぶおそれがあると認めるとき。
- ④前各号に掲げるもののほか市民の生命・身体・財産に被害を及ぼすおそれがあり、特に市民に周知する必要があると認める事案があるとき。

<放送時間>

原則 **午前7時～午後8時** ※緊急の場合例外あり

まだまだ台風シーズン！川の情報はここでチェック！

下館河川事務所ホームページ

鬼怒川・小貝川の情報が掲載されています。

■ 雨量・水位情報

テレフォンサービス

☎ 25-2180

■ 鬼怒川・小貝川のライブ映像



問 消防防災課（下館庁舎2階）

☎ 24-12132

非常持出袋

ライフラインが止まっても、最低3日間は自力で生活できるよう、普段から準備しておきましょう。



非常持出品の例

- 飲料水 □食料品（カップめん、缶詰など）
- 貴重品（預金通帳など） □救急用品（薬など）
- ヘルメット・防災ずきん □マスク □軍手
- 懐中電灯 □衣類 □下着 □毛布・タオル
- 携帯ラジオ □予備電池 □使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ □洗面用具

災害の最大の敵は「無関心」であることです。日頃から、一人ひとりが防災について意識するようにしましょう。備えとして、非常持出袋を準備しておくこともいいですね。

消防防災課

水越輝夫技官

